

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

研究開発課題名	核酸医薬開発に資する合成基盤技術開発
代表機関名	株式会社四国核酸化学
研究開発代表者名	片岡 正典
全研究開発期間	平成28年度～平成30年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/0000478372.pdf>

2. 総合評価

・ 優れている

・ 本課題は、GLP/GMP 対応自動合成装置開発を終了し、光学活性のある化合物の合成技法も含め、核酸医薬品の固相合成に対して効率的な液相合成法を完成したことは評価できる。また、特許2件を出願しており、多くの企業との共同研究も推進した。さらに、特許出願したオリゴ合成用セグメントを用いた合成及び立体制御オリゴの合成について、低コスト化も意識し合成法を確立したことも評価できる。

・ 今後、核酸合成技術の各種企業との共同研究等が積極的に行われるとともに、不純物の検出と排除法の研究開発を進めること。

以上